



学校教育目標

豊かな心を持ち、たくましく生きる折立の子どもを育成する

めざす児童像

- 思いやりがある子
- 理想を高くもつ子
- たくましく生きる子
- 手を取り合ってがんばる子



めざす学校像

- 子どもにとって**：この学校で学んでよかったと実感できる学校
- 教職員にとって**：この学校に勤務してよかったと胸を張れる学校
- 保護者にとって**：この学校に通わせてよかったと安心できる学校
- 地域にとって**：この学校があつてよかったと信頼される学校

学校の現状

平成23年3月11日の東日本大震災で校地・校舎被災。  
平成23年度から3年間、折立中学校敷地内仮設校舎で授業を行ってきたが、平成26年度から本校舎での教育活動を再開した。震災以降の困難な環境の中でも、教職員の英知を結集し学校としての使命を果たしてきた。  
本年度は、本校舎復帰2年目にあたり「復興の感謝の気持ちを忘れず、さらに前進！」をスローガンとして、更なる前進を目指し、創意と工夫を重ねて学校教育目標の具現化に努めていく。

児童・地域の様子

児童

- 明るく素朴で、子供らしい活力に満ちた児童が多い。
- 明確な課題に対しては、しっかり取り組む。
- よく聞く・考える・伝える力をより一層育てる必要がある。
- 地域社会や地域の自然の中で活動することが少ない。
- 震災のため生活環境が大きく変わった児童が在籍している。



家庭や地域

- 緑豊かな番山の山麓に位置し、北に権現森、学区を貫く広瀬川などの自然環境に恵まれている。
- 東北縦貫自動車道・仙台西道路・仙台北環状線・国道48号線等が通っており、交通の要衝となっている。
- 教育に対して理解があり、協力的な家庭が多い。
- 地域住民の高齢化が進んでいる。

助け合い（豊かな心）

学び合い（確かな学び）

育ち合い（健やかな体）

一人一人のよさを認め、高め合うための指導・支援・援助

- ① 学級・学年・異年齢集団・学校全体での望ましい人間関係の育成
  - ・連帯感、一体感の育成
- ② 家庭・地域及び諸団体との連携強化
  - ・幼稚園、保育所、中学校、児童館、市民センター、大学、介護老人保健施設、ボランティアサークル、老人クラブなどとの交流
- ③ 自分づくり教育の推進

学ぶ楽しさや分かる喜びが味わえる指導・支援

- ① 基礎基本の確実な定着
  - ・「読む」「書く」「聞く」「計算する」力の向上
  - ・思考力、表現力の向上
  - ・体験活動の重視
  - ・読書活動の充実
- ② 教師の力量の向上（校内研究の充実、OJTによる人材育成）
  - ・研究授業、ミニ研修タイムの累積、若手教員の育成、外部講師招聘

進んで健康的な生活を送るための指導・支援

- ① 健康・安全、心の健康教育の充実
  - ・防災教育の充実、交通安全指導、不審者対応指導
  - ・「心のケア」体制の充実、性教育の充実、生活習慣の見直し
- ② 体力向上の推進
  - ・体育、保健学習の工夫、食育・保健教育の充実、外遊びの奨励

平成27年度スローガン

復興への感謝の気持ちを忘れず、さらに前進！

目指す教師像

一人一人の子どもの心情に思いを寄せ、情熱あふれる教師

- 子どもに寄り添う教師
- 指導力のある教師
- 情熱あふれ礼儀正しい教師

協働型重点目標 「けじめのある生活ができる子供の育成」

開かれた学校

- ・学校評議員会、学校評価委員会の開催
- ・積極的な情報発信

地域連携・融合の強化

- ・地域人材、地域教材の積極的な活用
- ・地域と連携した防災体制の強化

幼保小中連携の強化

- ・教員相互の授業参観、情報交換の充実
- ・園児、児童、生徒の交流学習の充実

安全管理の徹底

- ・防災「管理」「組織」「教育」の徹底
- ・校舎・体育館・通学路の点検と管理の強化

**本校のあゆみ**

明治六年七月九日  
大梅寺内に第7大学区第3中学区第二小学区茂庭小学校綱木支校として発足。  
明治二十二年四月一日  
茂庭字滝沢に新校舎落成（21坪）生出尋常小学校綱木分教場となる。  
昭和十六年五月一日  
名取郡生出国民学校折立分教場となる。  
昭和二十二年四月一日  
新学制実施により、生出村立生出小学校折立分校となる。  
昭和三十一年四月一日  
仙台市立生出小学校折立分校となる。  
昭和四十三年四月一日  
学校所属変更により、仙台市立八幡小学校折立分校となる。  
昭和四十六年四月一日  
仙台市立折立小学校として独立開校。仙台市四十八番目の小学校として発足。  
昭和四十八年六月十八日  
ブルー竣工  
昭和四十八年十二月二十日  
校旗授与式  
昭和四十九年二月一日  
校歌制定  
昭和四十九年三月二十日  
二宮金次郎石像旧校地より移転  
昭和四十九年三月二十八日  
体育館竣工  
昭和五十五年十月二十五日  
開校十周年記念式典  
昭和六十一年六月十五日  
開校十五周年校舎落成記念式典  
昭和六十二年三月三十一日  
（財）日本水泳連盟より昭和六十二年度水泳優秀校として全国表彰される。  
平成三年十月二十六日  
開校二十周年記念式典  
平成四年四月一日  
特別支援学級設置  
平成七年四月一日  
特別支援学級の名称を「なかよし学級」とする。  
平成十年三月三十一日  
コンピュータ設置工事完了  
平成十一年十一月十五日  
校舎耐震補強工事・高架水槽取替工事完了  
平成十三年二月二十七日  
次世代ITを活用した未来型教育研究開発事業実施校の指定を受ける。（仙台市教育委員会）  
平成十三年四月一日  
情緒障害学級「たんぼぼ」設置  
平成十三年七月二日  
開校三十周年記念式典 同祝賀会 液晶プロジェクト・図書寄贈  
平成十四年四月一日  
仙台市教育委員会認定 自主公開校（算数科）二ヶ年  
平成十五年四月一日  
病弱・身体虚弱学級（ひまわり）設置  
平成十五年七月十六日  
自主公開（算数科）  
平成十六年九月一日  
防犯カメラ設置  
平成十八年三月十日  
体育館耐震工事完了  
平成十八年十一月三十日  
校舎大規模改造及び便所改修工事完了  
平成十九年四月二十六日  
特別支援教育実践研究協力校の指定を受ける。（仙台市教育委員会）  
平成二十年五月十四日  
「歯の衛生モデル校事業」指定を受ける。（仙台市教育委員会）  
平成二十一年八月三十一日  
（仙台市教育委員会）  
コンピュータ更新  
平成二十二年三月二十五日  
地デジ対応テレビ全教室設置  
平成二十三年三月十一日  
東日本大震災により校舎・校地被災  
平成二十三年四月十四日  
折立中学校にて授業開始  
十一月、プレハブ教室棟にて全学級  
平成二十四年 折立中敷地内にて授業  
三月 プレハブ特別教室棟完成  
九月 開校四十周年記念講演  
平成二十六年四月 本校舎での授業再開  
知的障害学級設置  
六月 単独給食プール再開